

第2回「市長と語るタウンミーティング」アンケート集計結果

日 時 : 令和2年1月18日(土) 午後2時～3時50分

場 所 : 国立市役所3階大会議室

来場者数 : 32人

回 収 数 : 14枚

(1)本日のタウンミーティングの内容は、いかがでしたか。

1.よかった	2.まあよかった	3.普通	5.あまりよくない	6.よくない
11	2	0	0	0

	(2)みなさんが考える防災・減災について	(3)今後のタウンミーティングについて
1	地域と市役所等とのスムーズな情報伝達手段の確保について真剣な議論が必要だと思えます。 市内間も、他県等との相互情報伝達についてもどうしていくのが良いのかをもっと検討する必要があると思えます。	国立駅舎の活用方法
2	・情報が迅速に公平に届くこと ・市外にいても、市内の家族となるべく短時間に相互に安否確認ができること	

3	<p>・災害の種類による対策を明確にしてほしい ・想定基準をはっきりしてほしい。 例 洪水ハザードマップの場合降水量と浸水深 500mmの時 } 1000mmの時 } 2日間総雨量と言う様に 今までになかった様な量が降る事が起こるので</p>	
4		
5	<p>国立市の中で、あまりお金をかけない防災対策を進めてほしいと思います。 市民主体、ボランティア主体 決して想定どおりにはならない</p>	出席者の名前を取った方が良い
6	<p>市内、精神障害のある方の福祉避難所をやっている職員です。 意見をきいて、やはり弱者の方の不安が強いのだと感じました。 この間、事業所でも防災意識が高まっています。実際に地震・火災訓練を 消防署とやっていますが、水害のリスクも高くなっているということは今年感じ ました。 可能なら、そのような教育等で防災課の方に事業所に来ていただけるとあり がたいです。 市長の話はわかりやすかったです。知識をしっているだけでも不安の軽減 になります。 そしてまた、福祉事業所の職員も災害時には地域の社会資源となることが 理解できました。今日の話共有したいと思います。ありがとうございました。</p>	
7	<p>1. 多摩川は小河内ダムから下流で大雨が降るとコントロールが難しくなる場 合があります。流域全体で流出の抑制をこれまで以上に進めていく必要が あると昨年思いました。現行では、泉水再生センター内で雨水時貯留施設 と雨水浸透施設で対応されているようですが、更なる強化が必要のように 思います。 たとえば、国立駅前ロータリーの改良に合わせて車道部への透水性または 貯留性舗装の採用や公共下水道の改修時に貯留マンホールを取り入れて いく等の対応を検討していただけないでしょうか。</p>	また防災・減災について実施していただきたいと 思います。

8	<p>最大公約数でどこまで可能かを規定する。 健康である場合には、出来る限り協力していきたい 自治会組織の強化が必要</p>	<p>防災には様々な意見があり、定期的ミーティング が必要と思われる</p>
9	<p>耳の聞こえない人への文字サービス必要 西2丁目の火災の危険性が心配 ひなん所に歩いていけない人はどうする</p>	<p>国立市内に住む外国人への情報 自動翻訳は誤訳が多い、人がやるべき 「川の近くに避難勧告」「川から逃げて下さい」</p>
10	<p>防災無線スピーカーが聞こえない対策として、各家庭に設置する「個別受信機」がある。各戸に設置した専用ラジオで防災無線が受信できます。各自治体で配布していることが多いです。</p>	
11	<p>地域メディアとして、災害報道を行っていることをより多くの方へ周知が必要だと感じました。 協定を締結し提供させていただいている防災情報サービスは、屋内で防災無線を聞ける機能に加え、HDMIケーブル接続でTVに内容を表示できるようになりました。 市の皆さんと連携させていただき地域のお役に立てますと幸いです。</p>	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧水はどこまで行政が持つべきか ・必要とする信号の発電機 ・スマホ充電は時代的必要 食糧水-民間資産 発電機-信号機、スマホ充電 	

13	<p>地震の予知(立川断層)とか立川・国立の地層の説明・テーマなのか(質問の順番はバラバラでよいのですか)</p> <p>防災上の洪水による想定被害のテーマか、地震よっての火災避難の内容・テーマなのか少しわかりにくかったです。でも皆様が一生懸命でとてもよかったです。</p> <p>私は洪水でも地震でもその片方の被災でも生き抜くには、生きてゆくには、国立では今現状でどうなっているのか、又どうすることが一番良いのか今後聞きたいし、知りたいです。想定(現実)を出しても良いのでは。</p>	<p>国立らしく、文教の市として、理性と知性の集合として、朝の被災、昼の被災、夜の被災、雨の日、風の日、冬の日、夏の時、冬の時と分けて、国立の多摩川そばの人も、断層の近くの人も、ハンディのある人もない人も、当国立では知性と知性と勇気とやさしさで一人の死者もなく皆の温かい心と勇気と助け合いで、フレッサーフレッサー国立でやりませんか。「大好きな国立」「思いやりの国立」信じ合いましょう。助け合いましょう。国立で働く人、生活する人、ありがとう。皆に愛を心より。</p>
14		<p>特定立場の意見・希望に偏らないように、中立的立場の進行役を置いた方がよい。</p>